



豊能の風



発行：豊能町教育委員会 第54号 R3.9.15

第3回 通学路等安全対策部会・PTA部会を開催しました

東地区の通学路等安全対策部会（通学路部会）、PTA部会の進捗状況をお知らせします。

【通学路等安全対策部会】

○第4回：9月7日実施

通学路部会では、地区委員さんとの懇談会を行い、保護者の方々からの意見を聞く機会を設定しました。

地区委員さんから出た意見（一部抜粋）

- ・少し乱れてはいるが、うまくいかないときは保護者同士で連絡を取り合っている。
- ・「個人で登校します。」という家庭も出てくる。それを受け入れる体制も必要なのではないか。
- ・今は、見守り隊の方ありきの登校班になっている。もうちょっと保護者が積極的に関わる必要がある。
- ・登校班と地区委員との仕事が合っていないのではないか。子どもの登下校の安全を見守るのが仕事。
- ・一保護者が他の家庭の子どもたちの責任まで負えない。ましてや、班長の子どもの責任を負わずのは酷。
- ・低学年で、初めて学校に通う保護者の気持ちを思うと、その時登校班がないとなると、もやもやが残る。

これらのご意見を受け、通学路部会では、令和4年度からの登校班の在り方について、もう少し議論を重ねることとしました。また、今後はPTA部会とも連携し、地区委員の仕事内容についても検討していきます。

【PTA部会】

○第4回：8月1日 第5回：8月28日 第6回：9月11日

PTA部会では、保護者の方との懇談会を行い、PTA組織の在り方について幅広く意見を聞く場を設定しました。

保護者の方から出た意見（一部抜粋）

- ・みんなで一緒に活動できるような組織にしてほしい。
- ・役員になると負担が大きい。役員会のために仕事を休むこともあった。
- ・地区委員について、登校班のあるなしに関わらず地区への連絡係は必要。
- ・土日は仕事で出られないけど朝の見守りならできるなど、それぞれが、できることをすればいい。
- ・このままではPTAとしての活動が危うい。協力しやすく、関心を持ってもらえる組織にしたらい。

今後、PTA部会では、役員の負担軽減の検討、参加しやすい組織への改革を進めています。また、来年度のPTA役員選出準備のため、過去の役員履歴調査を実施します。ご協力よろしくお願いします。

東能勢中学校区 小中一貫教育校開校に向けた学校説明会の報告

7月に東地区で開催した学校説明会においていただきました質問・要望の要旨とそれに対する回答をホームページに掲載いたしました。こちらのURLよりご覧ください。

CLICK HERE >>

<http://www.town.toyono.osaka.jp/page/page004734.html>

各学校園所の取組みを家庭の教育に ～めざす子ども像の実現に向けて③～ ひかり幼稚園

「主体的で対話的なあそびを考える」

年長児のデイキャンプを自分たちの力で計画していきました。「計画表」をつくることで、徐々に段階を追うことができ、子どもたちからの意見が出てくるようになりました。チーム会議では、計画表や部屋割り図、作業工程表、お化け、ジャングル、テント等の担当配置、食材、花火、チケットなどの数量表、買い物リストなどが次第に増えていきました。考えたことを友だちと話し合い協力したり、時には折り合いをつけたりしながら、準備を進めることで、デイキャンプでは、子どもたちが自信を持ち、生き生きと活動する姿が見られました。一生懸命まとめようとしていたり、考えたりするチームもあれば、思うように話し合いが進まないチームもありました。様々な人と話し合いや学び合う体験を通して、コミュニケーション能力や他者を思いやる心など、これからの社会を生き抜くために必要とされる非認知能力を育みました。

さて、園での活動が家庭ではどのようにつながっていくのでしょうか。

「これをしなさい！」ではなく、「どっちがいい?」「何をしたい?」と子ども自身が選択できるような声掛けがされているのでしょうか。自らチャレンジする意識を向上させるには、子ども自身に選ばせることが大切です。そして、「自分はこれがいい」と言えたり思えたりする環境が、自ら学び合う力を養うことになり、子どもを伸ばしていくと考えています。

私たちは、これからも子どもと一緒に自らチャレンジする意識を保護者の皆様と共に育んでいきたいと思ひます。

文責 園長 溝口百合子



「第3回 東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会」WEB開催

9月10日、第3回東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会をオンラインで開催しました。今回は、「各部会からの進捗状況の報告」と「東能勢中学校区学校運営協議会のめざす方向性」について協議しました。

登下校の安全見守りについて意見交流が行われ、

- ・夕方の見守りが必要である。
- ・保護者と地域が総掛かりで取り組む。
- ・スマホなど技術の進歩も活用する。

といった意見が出されました。

また、「東能勢中学校区の学校運営協議会のめざす方向性」については、「学校・地域・保護者」がめざす子どもの姿を共有し、その実現に向けて、それぞれの立場で責任を持って取り組むことが大切であるということが再確認されました。

地域の子どもたちのために、今後、さらに熟議を重ねてまいります。

